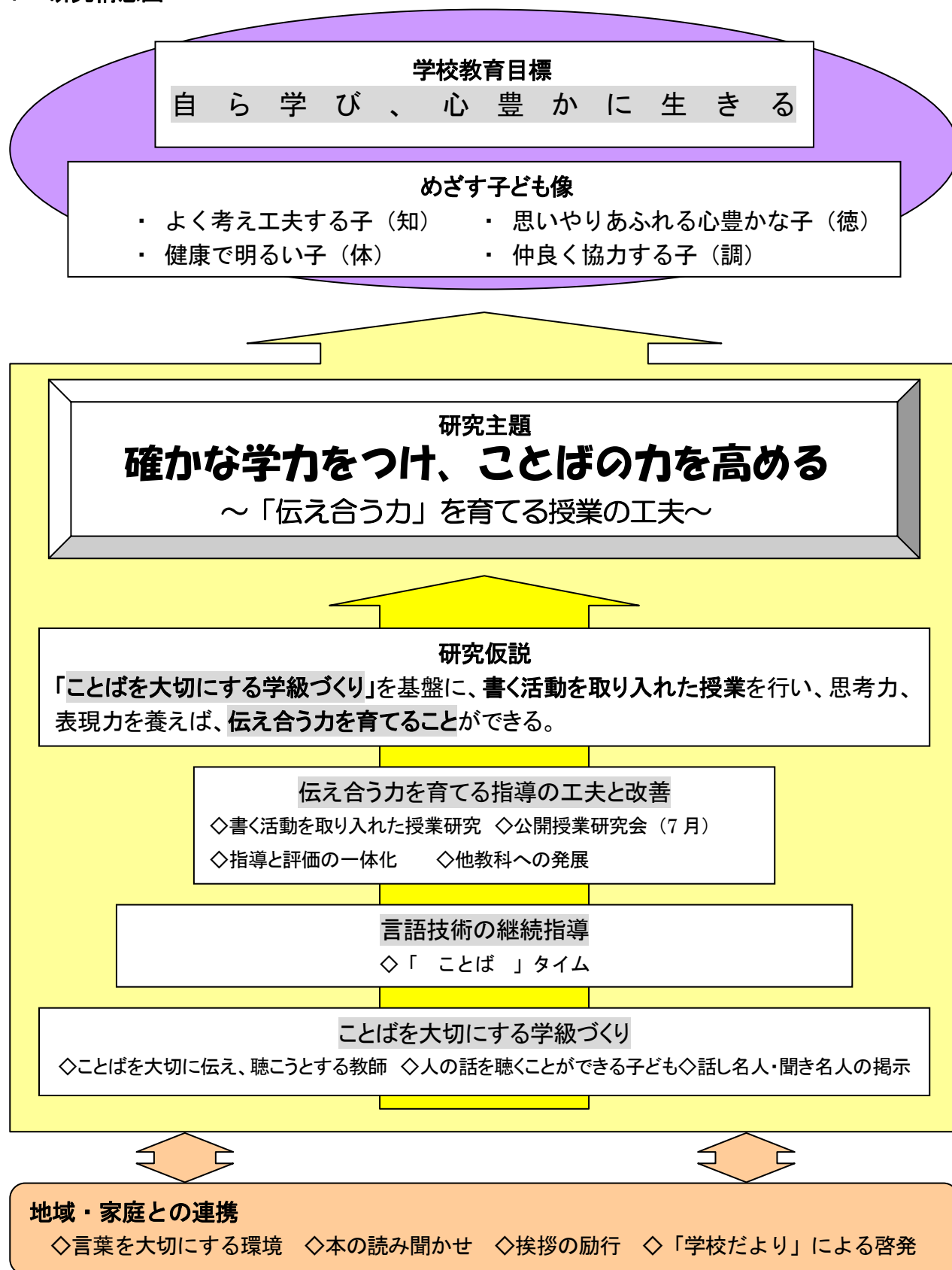


# 平成20年度 努力事項推進計画

## 1 研究構想図



## 2 研究主題

# 確かな学力をつけ、ことばの力を高める

～「伝え合う力」を育てる授業の工夫～（3年次）

## 3 主題設定の理由

「確かな学力」とは、

基礎・基本の学力を基盤として身につけた問題解決能力・伝え合う力によって、自らの生活を豊かにする力。

「ことばの力」とは、

- ・正確に伝える力（技能面）
- ・豊かに伝える力（能力面）

「伝え合う力」とは、

- ・人の意見を聞き取る力
- ・自分の意見を持つ力
- ・自分の意見を表現する力

本校では、「確かな学力」、「ことばの力」、「伝え合う力」を以上のようにとらえ、一昨年度から、「確かな学力をつけ、ことばの力を高める。」ことを目指し、「伝え合う力」を育てる授業づくりに取り組んできた。

一昨年度は、児童の実態から「相手の考えを受容的に聞き、自分の考えを話す」という伝え合う力に課題を見だし、国語科の「話すこと・聞くこと」領域を中心に研修と授業研究を実施した。特に、「場の設定の工夫」を授業実践のテーマに掲げ、各学年で効果的な話す場・聞く場となるよう授業づくりを試みた。その結果、技能面での伸びがみられ、目的に応じて話したり、正確に聞いたりすることができる児童が増えてきている。また、話すこと、聞くことに対して自信が持てる児童も着実に増えてきている。しかしながら、応答し合うコミュニケーション、すなわち「伝え合う」という点でまだまだ不十分な実態があることや国語科で育てたことばの力が生活の場で生かされていないなどの課題が残された。

そこで昨年度は一昨年度の研究を修正、継続するかたちで、「ことばを大切にする学級づくり」、「伝え合う力を育てる指導の工夫と改善」、「対話トレーニングの継続指導」を三つの柱として、「伝え合う力」の育成に取り組んだ。

伝え合う力（意見を聞き取る・意見を持つ・意見を表現する）を育てるためには、どの子も安心して自由に発言できる学級づくりが基盤となる。学級の中に「間違いや失敗をしても大丈夫」といった土壌が定着していることが大切である。ことばを大切に受け止め、ことばで意見を表現できる学級においては、課題に対して多様な意見が存在し、子ども同士の活発な話し合いが展開されていくことだろう。

本年度は、伝え合う力を育てる指導の工夫として「書くこと」を取り上げ、「人の意見を聞き取るために書くこと」「自分の意見を持つために書くこと」「自分の意見を表現するために書くこと」を研究のテーマとして掲げ、国語科全領域を対象に実践していきたい。児童一人ひとりが、書くことを通して論理的に思考し、論理的に表現する力を身につけることにより、「伝え合う力」をより確かなものにしていきたい。

また、伝え合う力の基礎・基本となる技能を高めるために、「話し名人、聞き名人」を学級に常掲し、常日頃から話し方、聞き方の基本を身につけさせたい。言語技術の継続指導を年間計画として位置づけ、「主語・述語の整った文で書く」、「自分の考えの根拠を書く」「筋道を立てて書く」などのスキルを重ね、授業や生活の場でも実践できる力に結びつけていきたい。

## 4 研究仮説

ことばを大切にする学級づくりを基盤に、  
書く活動を取り入れた授業を行い、思考力、表現力を養えば、  
伝え合う力を育てることができる。

## 5 研究内容と検証の指標

### 研究内容1 ことばを大切にする学級づくり

- ①ことばを大切に伝え、聴こうとする教師
    - ・ことばの意味を考えながら話す
    - ・ゆっくり丁寧に話す
    - ・最後まで話す
    - ・子どもの目を見て話す など
  - ②人の話を聴くことができる子ども（支持的な風土のある学級・学年集団づくり）
    - ・話す人の方を向いて「聴く」
  - ③「話し名人・聞き名人」を教室に常掲し、指導する
    - ・聞き手の方を向いて話す
    - ・話し手の方を向いて聞く 最後まで聞く など
- 【 検証の指標 】
- ・指導のねらいに沿った学習アンケート（2年生以上の児童、教職員）を行う  
→アンケートから得られた成果を全職員にフィードバックする

### 研究内容2 伝え合う力を育てる指導の工夫と改善

- ①書く活動を取り入れた「伝え合う」授業づくり。
    - ・人の意見を聞き取るために書くこと（例 聴きながらメモを取る）
    - ・自分の意見を持つために書くこと（例 ワークシート等の活用）
    - ・自分の意見を表現するために書くこと（例 作文 手紙等）
  - ②指導と評価の一体化
  - ③他教科への発展
- 【 検証の指標 】
- ・授業における児童の活動を観察する。（教師の見取り）  
書く活動を通して、（聞き取る、意見を持つ、表現できる）ようになり、伝え合っている
  - ・単元の指導計画の中に、「学習活動における具体的評価規準と評価方法」を位置づける
  - ・付箋紙法による授業の考察

### 研究内容3 言語技術の継続指導

- ①「ことば」タイム
    - ・年間指導計画を作成し、継続して取り組む
- 【 検証の指標 】
- ・授業における児童の言語活動を観察評価する（教師の見取り）
  - ・児童の自己評価、相互評価
- 【 本年度の研究全般に係る検証の指標 】
- ・基礎学力調査（4・6年）、基礎基本学力定着状況調査（5年）における論理的な思考力、表現力を  
はかる設問、及び漢字力をはかる設問のポイントアップ（前年比）
  - ・児童学習アンケート（2年生以上）
  - ・教職員学習アンケート